

H20年5月31日

湘南地区連合会学術講演会 講演内容

講師 高橋常男先生「リスク回避のための解剖学的知識 ZACと上顎洞の臨床解剖」

日常臨床や、インプラント治療に密接に関係している副鼻腔・上顎洞の解剖学的な知識を中心に、通常大学院で講演する内容を一般臨床家に分かりやすく解説して頂いた。

まず、基礎解剖学編として頭蓋骨、上顎骨、上顎洞の自然孔・裂溝の解剖学的な解説、また講師が命名したZAC（頬骨歯槽稜）が上顎洞の内壁までの距離や傾斜角を割り出すランドマークに使える事や、ZACを使って色々な新しい基準が見えて来る事を熱く解説された。臨床編では上顎洞、副鼻腔そのものの生物学的意義を解説された。

最後に、かつては上顎洞は耳鼻科との隣接領域という事で触れてはならない聖域という概念があったが、今や歯科の領域でもあるので、歯科医は消化器系・呼吸器系の専門家であるべきとの見解で締めくくられた。

一般の解剖教書では見る事が出来ない素晴らしい画像が数多く見られ、大変有意義な講演だった。